

## 多様なサービスを支えるCA基盤の開発

### 概要

人が様々なCA(サイバネティックアバター)を使って自在に活躍する社会を実現するための情報インフラであるCA基盤の開発を進めています。CA基盤の持つサービス配信機能、各サービスへの操作者・CAの動的な割り当て、クラウドサービスを利用したフレキシブルなサーバ管理等によってCAを使った多様なサービスを円滑に提供することが可能になります。

### 特徴

- CA基盤では、遠隔操作者とアバターをネットワークを介して結びつけることで受付サービス・案内サービス・接客サービスなどCAを利用した様々なサービスの提供を可能とします。
- 提供するサービスに合わせて個々の操作者やCAの役割を動的に割り当てることで多様なサービスに適応します。またCA基盤の持つ管理機能により操作者やCAの活動状態をリアルタイムで監視します。
- 大阪・関西万博 石黒浩・シグネチャーパビリオン「いのちの未来」ではCA基盤を利用してパビリオン内に配置された多数の移動型CAを6か月間にわたって運用しCA基盤の安定性・有用性を確認しました。

### 今後の展開

- 大規模な実証実験で得られた知見を活かしながら、CA基盤の機能強化を積極的に進めていきます。CA自体やCAサービスの開発支援、CAサービスの標準化についても検討します。

### テーマ「社会課題と向き合う科学技術の最前線」との関連

- アバター共生社会においては遠隔にあるCAをCA基盤を介して利用することで加齢などによって生じる身体の制約を超え、人はこれまで以上にその活動の幅を広げることができると考えられます。



大阪・関西万博におけるCA長期運用(2025年4月～10月)



株式会社国際電気通信基礎技術研究所  
インタラクショナル科学研究所／インタラクショナル技術バンク

担当 内海 章 E-Mail: utsumi@atr.jp